

平成26年1月

第32回 Cytoprotection 研究会 ご案内および演題募集要項

拝啓、時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第32回 Cytoprotection 研究会 (<http://gakkai.umin.jp/cytoprotection/study.htm>) を、以下の要領で開催致します。ご案内がおそくなってしまいまして大変申し訳ございません。今回の研究会は、名古屋大学豊國伸哉先生および京都府立医科大学内藤裕二先生のもとにて国際フリーラジカル学会 (<http://sfri2014.org/>) が3月23日(日)～26日(水)開催されるため、サテライト研究会という位置づけで、国際フリーラジカル学会と同じ国立京都国際会館にて大会初日(3月23日(日))に開催されることになりました。世界中から酸化ストレス研究の権威が結集する学術大会であり、英語でのご講演となります。特別講演1ではケンタッキー大学の Daret K. St Clair 教授による「Mitochondria are a Novel Target for Prevention of the Side Effects of Cancer Therapy」を、また特別講演2ではパーキンソン病研究の権威である順天堂大学脳神経内科服部信孝教授による「Pathomechanisms of Parkinson's disease: insights from the monogenic forms of Parkinson's disease」を予定しております。つきましては、下記に御示いたしました本研究会の趣旨を御理解の上、演題をご応募いただきたくご案内申し上げます。下記のように特別講演に加え、ランチョンセミナーも予定しております。また、優秀な若手研究者の為の奨励賞も例年通り予定しておりますので、奮ってご応募・ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

第32回 Cytoprotection 研究会

当番世話人 馬嶋秀行

事務局：〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
腫瘍学講座・宇宙環境医学講座内

Tel:099-275-6272/Fax:099-275-6278

E-mail : mitochondrion@dent.kagoshima-u.ac.jp

1. 日 時：平成26年3月23日(日)
2. 会 場：国立京都国際会館 (www.icckyo.or.jp/)
3. 参加登録料：3,000円(当日会場にて徴収)
4. 演題締切：平成26年1月24日(金) 必着

<プログラム>

- ・ 特別演題1【Mitochondria are a Novel Target for Prevention of the Side Effects of Cancer Therapy】

Daret K. St Clair 先生 (ケンタッキー大学・教授)

- ・ 特別演題2【Pathomechanisms of Parkinson's disease: insights from the monogenic forms of Parkinson's disease】

服部信孝先生 (順天堂大学・教授)

- ・ ランチョンセミナー【Molecular Mechanism in the Pathogenesis of the Colitis-Associated Colorectal Cancer】

土屋輝一郎先生 (東京医科歯科大学消化器内科)

- ・ 一般演題（公募）
 - ・ 萌芽的研究演題：若手研究者（筆頭演者 40 歳以下）の独創性の高い研究（公募）
- * 発表演題より、優秀な演題については表彰いたします。

<演題募集要項>

一般演題・萌芽的研究演題（口頭発表のみ）を以下の通りに公募いたします。

- 1) 申込資格：応募者（共同演者も含む）は本研究会の会員に限ります。
 （未入会の方は、事務局（ <http://gakkai.umin.jp/cytoprotection/study.htm> ）に連絡をとり、手続きを済ませて下さい。年会費（正会員 5000 円/1 年）です。）

2) 本研究会の趣旨

本研究会は種々の破壊因子に対する生体反応・防御機構に関する基礎および臨床医学の研究成果を発表し、討論することを目的としています。そのため本来、Cytoprotection という言葉は prostaglandin の粘膜保護作用について提唱されたものですが、広義の生体防御の立場から本研究会の名称として採用しています。

- 3) 申込方法：以下のように抄録を作成し、E-mail の添付書類（MS word にて作成）にてご送付下さい。尚、今回は国際学会（国際フリーラジカル学会； <http://sfri2014.org/>）のサテライトミーティングですので、Abstract およびご発表は英語で行なっていただきますのようしくお願いいたします。Abstract は国際フリーラジカル学会の様式に従っていただきます。国際フリーラジカル学会の抄録集に掲載予定です。

※Call for Abstracts

http://www.sfri2014.org/call_for_abstracts.htm

Instructions for Abstract Preparation

1. Abstracts should be written in English.
2. Up to a maximum of 5 facilities can be registered as Affiliated Institutions. Maximum number of characters for the first author's institution is 120 and for the other authors' institutions are 90 per institute.
3. Up to a maximum of 12 persons can be registered as Co-Authors.
4. Please indicate the presenter by checking the box for correspondent author.
5. The abstract title should be no more than 150 input characters including spaces.
6. The abstract body should follow the structure of Background, Methods, Results, Conclusion, and should be no more than 1400 input characters.
7. The total of the abstract including authors' names and institutions should be **no more than 2230 input characters**. **くれぐれも越えない様をお願いします。**
8. Abstracts should not include any diagrams, charts or reference citations.
 - * 送付いただいた抄録は、データ入力いたします。
 - * Abstract の見本を同封いたします。
 - * 希望発表セッションの記載がない場合は、こちらで適したセッションを決定いたします。
 - * メールおよび Abstract 外枠に発表希望セッション（一般・萌芽的研究演題）および連絡先（発表代表者氏名、所属名および住所、TEL、FAX、E-mail address）を記入してください。

- 4) 採否通知：演題の採否は、当番世話人並びに代表世話人にご一任下さい。
 結果は、プログラム編成後、2月上旬頃に E-mail にて通知 予定です。

5) 表彰

発表演題の中から、優秀な演題を選定し、奨励賞を授与いたします。対象者は、本研究会会員の筆頭演者で、萌芽的研究演題については、研究会当日 40 歳以下の方といたします。是非多くの演題のご応募をお待ちいたしております。賞状ならびに副賞の授与を予定しております。

6) 演題メール送信先

メール送信先：mitochondrion@dent.kagoshima-u.ac.jp

第 3 2 回 Cytoprotection 研究会事務局

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍学講座・宇宙環境医学講座内

ABSTRACT Sample

Induction of Mitochondrial ROS and Cell Death by Cytokines and Its Prevention by Estrogen in Rheumatoid Arthritis Fibroblasts

Shigeaki Suenaga¹, Hiroko P Indo¹, Hsiu-Chuan Yen³, Hirofumi Matsui⁴,
Toshihiko Ozawa⁵, Hideyuki J Majima^{1,2}

¹Dept. Oncology, ² Dept. Space Environm. Med., Kagoshima Univ. Grad. Sch. Med. Dent. Sci., Kagoshima 890-8544, Japan, ³Dept. Med. Biotech. Lab. Sci., Chang Gung Univ., Kwei-Shan, Tao-Yuan 333, Taiwan, ⁴Div. Gastroent., the Grad. Sch. Comprehensive Human Sci., Univ. of Tsukuba, Ibaraki 305-8575, Japan, ⁵Dept. Health Pharm., Yokohama College Pharm., Totsuka, Kanagawa 245-0066, Japan.

Background: Recent development of the studies have shown that rheumatoid arthritis (RA) is caused not only self immune activation, but the effect of cytokines such as IL-1 β and TNF- α inside the synovial cells causes an important roles in RA pathology. The roles of estrogen receptors (ERs) on the cytokines treatment in the primary synovial fibroblasts, which express a low and high levels of ER α (Low ER α and High ER α), was examined in this study.

Methods: Fibroblast cell lines were established from human tissues obtained from patients with rheumatoid arthritis (RA).

Results: Treatment of the High ER α with combined estrogen cytokines decreased mitochondrial ROS, generation of RNS, due to decrease of peroxynitrite production, and further lipid peroxidation products, and prevented subsequent apoptotic cell death. However, estrogen treatment of the Low ER α did not show substantial changes. In cells transfected with ER α siRNA, administration of estrogen did not produce significant reduction in cytokine-induced ROS, RNS, lipid peroxidation products, or apoptotic cell death.

Conclusion: These results demonstrate that both mitochondrial ROS and RNS, thus production of peroxynitrite, are key player in the pathogenesis of RA, and that estrogen plays an important role in protecting cells against the development and progression of RA.

Total: 1,679 input characters (<2,230 characters)

発表希望セッション（一般・萌芽的研究演題）および連絡先（発表代表者氏名、所属名および住所、TEL、FAX、E-mail address）を記入してください。

一般

馬嶋秀行、 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座・宇宙環境医学講座、〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1、TEL:099-275-6272、FAX:099-275-6278、
hmajima@dent.kagoshima-u.ac.jp

サイトプロテクション研究会

<http://gakkai.umin.jp/cytoprotection/study.htm>

顧問 (5名)

今村 正之	関西電力病院学術顧問 / 京都大学名誉教授
川野 淳	大阪大学名誉教授
戸部 隆吉	京都大学名誉教授 / 姫路市立生涯学習大学校名誉学長
真辺 忠夫	名古屋市立大学名誉教授 / 刈谷豊田総合病院外科
柚木 一雄	鹿児島大学名誉教授

世話人 (24名)

荒川 哲男	大阪市立大学大学院医学研究科消化器器官制御内科学※
有井 滋樹	浜松労災病院院長※
石原 和彦	北里大学保健衛生専門学校※
井上 正康	宮城大学/大阪市立大学大学院医学研究科脳科学講座
河田 則文	大阪市立大学大学院医学研究科胆肝膵病態内科学
北島 政樹	国際医療福祉大学/三田病院
嶋田 裕	富山大学大学院医学薬学研究部外科学 (消化器・腫瘍・総合外科) 講座
城 卓志	名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学※
末松 誠	慶應義塾大学医学部医化学※
鈴木 秀和	慶應義塾大学医学部内科学 (消化器)
竹内 孝治	京都薬科大学病態薬科学系薬物治療学分野※
内藤 裕二	京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学※
中村 正彦	北里大学薬学部臨床薬学・教育センター病態解析学※
樋口 和秀	大阪医科大学第2内科※
日比 紀文	慶應義塾大学医学部内科学 (消化器)
馬嶋 秀行	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座・宇宙環境医学講座
丸山 征郎	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科システム血栓制御学 (メディポリス連医携学)
三浦総一郎	防衛医科大学校校長
水島 徹	慶應義塾大学薬学部分析科学講座※
峯 徹哉	東海大学医学部内科学系消化器内科学※
谷中 昭典	筑波大学医学医療系臨床医学域※
吉川 敏一	京都府立医科大学学長 (代表世話人) ※
渡辺 純夫	順天堂大学医学部消化器内科
渡辺 守	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科消化器病態学 ※ 運営委員